

平成28年度事業報告

公益財団法人佐賀県臓器バンク

平成28年度事業報告

I 概要

公益目的事業として認定されている下記の4事業を実施しました。

(1) 県民への広報事業

臓器移植及び腎臓病の予防に関する理解を広げるための事業

(2) 移植医療体制整備等事業

臓器提供、臓器移植を担う医療機関の対応力の向上や臓器搬送をはじめ移植医療との連携が必要な機関などの体制の整備と連携の強化等を推進する事業

(3) 臓器移植希望者支援事業

臓器移植を希望する患者に対する情報提供・助成等の支援事業

(4) 臓器提供者フォロー事業

臓器提供者側に十分な敬意と謝意を示すとともに、提供者遺族等への精神面の支援等を行う事業

II 各事業の実施状況

(1) 県民への広報事業【公益目的事業1】

県民に対して、臓器移植の必要性や臓器不足の現状、臓器移植の制度等への理解、臓器提供意思表示カードの携帯などを訴え、臓器移植の普及に取り組むとともに、特に臓器移植希望者が多い腎不全患者の増加等を抑制するため、腎疾患の予防のための知識の普及を図りました。

ア. 啓発イベント等による広報

A) 臓器移植普及推進月間（10月）キャンペーン

毎年全国一斉に展開されている臓器移植普及推進月間事業として、佐賀市内の大規模商業施設「ゆめタウン佐賀」において、臓器移植提供意思表示説明用リーフレット等を街頭配布し、臓器移植への理解、臓器提供に関する意思表示の普及を訴えました。

a) 街頭キャンペーン

日時 平成28年10月18日（火）16:00～17:00

場所 ゆめタウン佐賀（佐賀市）

内容

・街頭配布活動

臓器移植及び慢性腎臓病に関するチラシ等を配布し、理解を呼び掛けました。

〔チラシ等配布実績〕

臓器提供意思表示カード説明用リーフレット、意思表示カード等
1,000部

主 催 佐賀県、佐賀県腎臓病協議会、佐賀若楠ライオンズクラブ
佐賀県臓器バンク

b) 懸垂幕による広報

佐賀県庁本館庁舎が耐震工事中のため、未実施。

c) ポスターによる広報

移植医療への理解を呼び掛けるACジャパン支援のポスター約1,200枚を、医療機関・市町・学校等に配布し、広報を行いました。

また、免許証等所定の意思表示欄への記入を呼び掛けるポスター約50部を、市町・警察署・自動車学校に掲示し、広報を行いました。

B) 世界腎臓デー（3月第2木曜日）におけるキャンペーン

慢性腎臓病患者の増加に伴って重症化による人工透析患者数が増加しているため、国際的な統一キャンペーンとして設けられている世界腎臓デーに合わせて、慢性腎臓病の予防、重症化予防に関する理解を広めるため、チラシ等を配布し、広報を行いました。

a) 街頭キャンペーン

日 時 平成29年3月10日（金）17:00～18:00

場 所 ゆめタウン佐賀（佐賀市）

内 容 街頭配布活動

慢性腎臓病の重症化予防に関するチラシ等を配布し、理解を呼び掛けました。

〔チラシ等配布実績〕

腎臓病予防チラシ等 1,000部

主 催 佐賀県、佐賀県腎臓病協議会

佐賀県総合保健協会、佐賀県臓器バンク

イ. 他団体の各種イベントや街頭等における随時の広報

A) 県内イベントや街頭での広報事業

多くの県民の方に移植医療や提供臓器が不足している現状、制度や臓器提供意思表示の手続きなどについて理解を広げるため、随時に、県内各地で開催される他団体のイベント会場等において、一般県民を対象にパネルの展示、カード、リーフレットの配布等により、広報を行いました。

訪問会場 佐賀市花しょうぶ園（6月3日～6月13日）

唐津市あじさい祭（6月10日～20日）

配布数 約1,500部

B) 成人式会場における広報

成人式への参加者に対して、臓器提供意思表示カードの普及についてのリーフレットを配布しました。

対象市町数 20市町

送付数 8,500部

ウ. 公共施設窓口等における広報

市町庁舎、図書館等の公共施設、医療機関、薬局、保健所、金融機関、大学等の窓口臓器移植に関するリーフレット等を配置し、当該施設等への来場者に対する広報を行いました。

資料配置箇所 ; 累計 約800ヶ所

《「県民への広報事業」の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置及び活動に対する助成

(2) 移植医療体制整備等事業【公益目的事業1】

臓器提供者側の意思表示に適切に対応し、臓器提供、臓器移植を円滑に進めていくには、臓器提供が発生する可能性がある医療機関における臓器提供時の対応力の充実、臓器提供側医療機関と移植を行う医療機関及び臓器移植コーディネーター、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク等の当事者間の協力と連携体制を築いておくことが不可欠なため、当財団の臓器移植コーディネーターが各医療機関を訪問して当該医療機関の課題等を把握するとともに、臓器提供時に臓器提供医療機関の窓口となり、また日頃から各医療機関内での体制づくりの推進役となる院内移植コーディネーターの配置や、各医療機関内での勉強会、県内の移植医療関係者を集めての連絡会議や研修会等を開催して、各医療機関の臓器移植への対応力の向上と協力・連携体制の向上を図りました。

また、臓器移植の際に、摘出された臓器を限られた時間内に的確に搬送するには、臓器搬送車の誘導等を行う警察や航空機利用時の空港等の管理者等との緊密な連携が必要なため、連絡体制や連絡方法等の確認等を行いました。

ア. 院内移植コーディネーターの配置

特に臓器提供の可能性が高い救急指定病院（消防法及び厚生労働省令に基づき都道府県が指定告示した病院）等において、臓器提供時の病院内当事者間の調整、県臓器移植コーディネーターや公益社団法人日本臓器移植ネットワークとの連絡調整等を担うとともに、日頃からの病院内体制づくりをけん引する「院内移植コーディネーター」を委嘱しました。

- ・平成28年度委嘱者数 52名
- ・平成28年度委嘱施設数 9施設
佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館、唐津赤十字病院、
河畔病院、白石共立病院、嬉野医療センター、伊万里有田共立病院、
やよいがおか鹿毛病院、新武雄病院
- ・報酬等 なし

イ. 院内移植医療勉強会の開催

臓器移植に関する制度や対応の仕方について、臓器提供が少ない現状では、通常の臨床においては経験、学習する機会が少ないため、各医療機関で臓器提供・臓器移植に的確に対応するためには、臓器移植に関する研修を通じて情報・知識を習得し、また、各医療機関内での組織的な役割分担や協力体制を確立する必要があります。

また、臓器提供者の尊い提供意思を看過することなく、臓器移植に生かしていくためには、臓器提供側の医療機関において、終末期に至った患者の最後の選択としての臓器提供の意思（提供者本人の臓器提供意思表示の有無、家族等の同意）を確認したり、医療機関スタッフが（臓器の提供時期が不確定のため）長時間にわたって待機を要する等の大きな負担を克服するに足りる臓器移植への理解が必要です。

このため、当財団の臓器移植コーディネーターが研修内容の企画や講師の選定・依頼等の支援を行い、臓器移植に関する法制度や体制づくり等についての学習等の研修を実施しました。

（下記その他、独自の施設内研修会等も開催されました。）

A) 佐賀県医療センター好生館

- ・透析医療従事職員研修会

日 時	平成28年10月25日（火）
参加者	4名（透析医療従事者等）
内 容	「日本の移植事情」「献腎移植希望登録の手続」 講師 県臓器移植コーディネーター
- ・脳死下臓器提供シミュレーション

日 時	平成29年3月13日（月）
参加者	医師、看護師、臨床検査技師
内 容	脳死下臓器提供を想定したシミュレーション

ウ. 連絡・連携のための会議等の開催

移植医療関係者の相互の連携を深めるとともに、共通する課題等についての情報・意見の交換によって知識を深めるため、県内移植医療関係者合同の連絡会議を開催しました。

A) 佐賀県臓器移植普及会議の開催

a) 平成28年度会議

日 時 平成29年3月7日(火) 18:30~20:30

場 所 佐賀市 アバンセ3階研修室

参加者 55名

各医療機関の院内移植コーディネーター

県内救急指定病院職員

腎臓移植会員施設移植医

日本臓器移植ネットワーク・コーディネーター

県臓器移植コーディネーター

佐賀県健康増進課

佐賀県臓器バンク事務局

内 容

「脳死下臓器提供の症例報告」

主 催 佐賀県・日本臓器移植ネットワーク

佐賀県臓器バンク

エ. 臓器搬送体制の確保

佐賀県警察本部担当者及び佐賀空港管理事務所担当者との打合せを通じて、臓器搬送時の連絡方法、対応の方法について、マニュアル等の内容の確認等を行いました。

《「移植医療体制整備等事業」の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

(3) 臓器移植希望者支援事業【公益目的事業1】

臓器移植を受けるために必要な臓器移植希望の登録の際の本人の負担を軽減するため、手続きの支援や費用の助成を行いました。

ア. 臓器移植希望者への情報提供

4件の相談に対応して、電話や対面での相談、検査施設での立会、手続きの支援等を行いました。

イ. 臓器移植希望登録に係る費用の助成

公益社団法人日本臓器移植ネットワークに臓器移植希望を登録するために必要な組織適合検査（HLA検査）に要する費用を助成しました。

助成者数 4名

助成額 100,000円

《「臓器移植希望者支援事業」の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

(4) 臓器提供者フォロー事業

ア. 臓器提供者遺族等への支援

平成28年度中の実績なし

《「臓器提供者フォロー事業」の財源》

基本財産運用収益

平成28年度事業報告参考資料

県臓器移植コーディネーターの活動〔平成28年度〕

1. 情報提供件数 4件

2. 研修等の活動

日本臓器移植ネットワークが主催する研修会、連絡会議等に参加しました。

5月18日	あっせん事業体制整備事業全国会議	東京都
10月12日 ～13日	都道府県臓器移植コーディネーター研修会	福岡市
12月2日 ～4日	第15回 JATOCO 総合研修会	東京都
12月17日	大分県脳死下臓器提供研修会	大分市
1月24日 ～26日	都道府県臓器移植コーディネーター研修会	東京都
2月3日	平成28年度臓器移植セミナー	福岡市
2月21日	小児脳死下臓器提供シミュレーション研修会	福岡市
2月27日	九州・沖縄県臓器移植コーディネーター連絡会議	福岡市
3月	近県支援（心停止下臓器提供症例）	福岡県内